



「地域農業再生による地域活性化プラン」を

農業委員会会長 松永晋一

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は大雪、春先の低温での雪融けの遅れ、夏から秋にかけての高温少雨等異常気象が常態化し農業生産にとって厳しい年が続いており、気象に対応した農業の必要性を痛感させられました。

12月に行われた衆議院選挙において、自民党が圧勝しましたがTPPに国民の多くが反対の意思を示したと射え、交渉参加に含みを持たせる発言をしている安倍政権の対応姿勢を監視し、反対の声を強めていく事が大切だと思います。さて、農業情勢の厳しさが

言われて久しくなり、様々な対策が講じられてきましたが依然として改善の兆しが見えないのが現状です。このような中、昨年飯山市農業再生協議会への農業関係組織の本化が完了し、地区毎の農業再生センターによる地域農業再生を中心とする地域活性化に向けマスタープラン作りが始まりました。このプラン作りは、国が進める農地の集約を中心とした「人・農地プラン」作成に基づいてはいますが、地域の実情を考慮した活性化プランを作成するため、地域の意欲的な農業者や農業に関心の有る人たちも多く取り込み、地域の話し合いを深め多様な計画が作成されることが期待されています。

農業委員会としても地域に根ざし、皆さんとの思いを共有化し頑張りますので、各位のご指導ご協力をお願いします。年頭のご挨拶といたします。

平成24年度 飯山市農業賞

藤本さんと丸山さんが受賞

飯山市の農村・農林業の振興・発展や経営内容が特に優れ、地域の模範となるものに対し表彰する「農業賞」を11月25日松永晋一農業委員会会長より授与しました。



男さんの2名となりました。藤本さんは、農産物を活かす観点から加工所を設立、6次産業の先駆者として農業の再生・発展をリードしています。また、信州の味のコンクールにおいて最高となる県知事賞の受賞、食文化の伝承、食育の推進など農村女性のけん引役として常に創意工夫を重ね活躍・貢献されています。

丸山さんは、長年、農業生産法人の経営を行い、遊休農地を活用して圃場の拡大を図り、地域での雇用創出に尽力されています。また、若い農業者の養成には献身的に取り組みされており飯山市の農業発展に貢献されています。あらためましてお二人にはお祝い申し上げます。

老後の備えは農業者年金加入から

◎国民年金の第1号被保険者であり60歳未満の者で、年間60日以上農業に従事する者であればどなたでも加入でき、加入や脱退はいつでも自由になります。

◎積み立て方式で、毎月の保険料は2万円から6万7千円まで千円単位で自由に決められ、いつでも金額を変更できます。

◎65歳からの受給開始で終身年金。80歳前に亡くなった場合は80歳までに受け取るはずであった年金額を、また65歳前(年金受給前)に亡くなった場合には死亡一時金を遺族の方が受け取れます。

◎農業者年金ならではのメリットで、保険料は全額が所得税の社会保険料控除の対象に、また受け取る年金は公的年金控除の対象になります。

詳しくは、農業委員、農業委員会事務局(☎0261-111内線261)またはJA窓口までお問い合わせください。

平成24年度 市長建議

飯山市農業委員会では、11月28日に足立市長に対し平成24年度 農林業振興施策に関する建議を行いました。地域の意欲的な農業者の英知を結集した地域農業再生による地区活性化の取り組み、併せて飯山らしい農業振興の実践で、元気のある農業・農村づくりを期待して市長建議を行ったものです。建議の主な内容は次のとおりです。

- ・若手農業者の市場視察や経営戦略研修等への積極的参加
- ・農業経営に意欲ある青年の就農支援策として市独自の支援

農業・農村環境整備と地域活性化について

の未来像としての「人・農地プラン」作成。併せて国・県では対応できない事業への助成

- ・一層の鳥獣被害防止対策併せて森林の整備や里山の保全活動への継続的な支援

農地の現状把握と適正化について

・農地利用状況調査の調査員の設置及び農業委員会事務局の体制整備

国・県等関係機関への要望について

- ・関係する農業団体などと連携を密にし、新規作物の導入等の研究
- ・アスパラガス生産地維持のため、研究・調査活動の充実強化
- ・農業主導型の第6次産業化のための調査・研究及び販売も含めた支援策の推進
- ・関係機関と連携し、より一層の農地利用集積の促進
- ・耕作放棄地発生防止と解消

農のまつり開催

「育った場所が見えるとおいしい」

飯山市農業委員会と飯山市では、今年も無事に収穫できた事に感謝し「農のまつり」を開催しました。開催セレモニーは図画作文コンクール表彰式、農業賞授与式、戸狩小学校音楽クラブにも出演頂きました。



基本とした政策の推進
・TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)については、絶対反対すること

建議提出後、市長と農業委員の懇談が行われ、飯山の農業振興について意見交換されました。

その中で市長から生産から販売まで一貫した取組み。安定した生産のため法人化の必要性等が話されました。農業委員からも販売の必要性。農業関係団体が連携を密にし、消費者が何を求めている

農業委員の異動について

平成24年12月に市議会推薦による農業委員の交代がありました。渡邊吉晴さん(飯山)、佐藤正夫さん(柳原)に代わり、石田克男さん(常盤)、山崎一郎さん(飯山)が新たに農業委員に選任されました。

伝統野菜を求める姿も見られました。本年も大勢の皆さんに来場頂き、飯山のおいしい農産物を、味わっていただきました。



(11・12月の活動記録)

- 11/5~19 各地区非農地検討会議
- 7 長野県農業委員会(松本市)
- 9 農業委員会役員会
- 24 農のまつり準備
- 25 農のまつり(トピアホール)
- 28 市長建議、11月農業委員会総会
- 12/5 非農地通知書発送
- 6 農地相談、農業委員会役員会
- 26 12月農業委員会総会

あしあと

